

#### IV. 地方支部

北海道支部，東北支部，北陸支部，関西支部，九州支部の各地方支部においても，夫々講演会，見学会，研究会，講習会等を開催した。

#### V. 官庁事項

1. 昭和 29 年 3 月 20 日工業技術院長より委託に係る鋼の焼入性試験方法の工業標準原案調査報告書及び鋼の結晶粒度判定方法の工業標準原案調査報告書を同院長に提出。

2. 昭和 29 年 4 月 28 日沢村理事他 8 理事の就任登記申請書及び資産総額に関する登記変更申請書を東京法務局日本橋出張所に提出。

3. 昭和 29 年 4 月 26 日，昭和 28 年度会務報告，収支決算書，昭和 29 年予算書，第 39 回通常総会決議録報告を文部大臣に提出。

4. 昭和 29 年 6 月 29 日工業技術院長より非金属介在物による鋼品位判定方法工業標準原案作成の委託を受く。

5. 昭和 29 年 7 月 27 日入理事の就任登記申請書を東京法務局日本橋出張所に提出。

6. 昭和 29 年 11 月 17 日工業技術院長より鋼のフェライト結晶粒度判定方法工業標準原案作成の委託を受く。

7. 昭和 29 年 11 月 29 日工業技術院長より砂疵による鋼品位判定方法工業標準原案作成の委託を受く。

(658 頁よりつづく)

#### 神戸製鋼所の鍛造新装置

神戸製鋼所では一昨年フランスの鍛造メーカー，カンパニー，デ・フォルジュ，エ・アジュリ，ド・ラ・マリヌ，エ・ド・サン・エティエンヌ社と技術提携し，わが国ではじめてという R.R. 鍛造装置を製作していたが，この程完成した。この R.R. 法による装置は同社高砂工場の 5,000 トンプレスに直結稼働するようになっており，従来の自由鍛造方法と異つて型打ち鍛造をプレスの力で行うので，注水量が纏まれば型代を除き生産コストは従来の約半分になり，又その上靱性が高いので強度は 3 割方高くなるといわれ関係方面から注目されている。

#### コークス比の新記録

八幡製鉄所東田第 6 高炉の 3 月中のコークス比は 0.620 で昨年 11 月洞岡第 4 高炉がたたえた 0.635 をさらに上回る成績を収めた。これは国内は勿論外国にもない珍しい記録で，その後も 0.600 台を安定して出している。この原因としては (1) 原料の事前処理がよくなったこと，(2) インド鉱石を使用して品位をあげたこと，(3) 焼結工場の生産能力に応じて焼結鉱を増加したこと，(4) 操業上細部の点まで調整するよう気を配つたこと，(5) 与えられた原料を計画的に処理したことなどが挙げられている。

なお同高炉の過去の記録は，昨年 9, 10, 11 月の 3 カ月を通じ 0.644 であつた。

材質・作業能率の飛躍的向上に!

## ニガタのミ-ハナイトメタル

種類 一般機械用 (Gタイプ) 耐蝕用 (Cタイプ)  
耐熱用 (Hタイプ) 粒状黒鉛 (GSタイプ)  
耐磨耗用 (Wタイプ)

#### 特長

- a. 強度，靱性及び剛性が特に高い
- b. 耐磨耗性振動吸収能及び切欠抵抗性が大きい
- c. 鍛造後の変形，経年変形が少い
- d. 機械加工性が良好で，精密仕上が可能



株式会社 新潟鐵工所

本社 東京都千代田区九段一-6 電話(33)8331・8491  
支社 大阪・新潟 営業所 名古屋・札幌・下関

ミ-ハナイト  
製造工場



新潟製鋼工場 電話 61.21~8  
(新潟支社内)



浦田鑄造工場 電話 (73) 2131